

平成10年11月(1998年) No. 395

## 大阪アマチュア映像祭 まずは盛会にて無事終了

11月1日の午後、大阪市立中央図書館にて開催された「第2回大阪アマチュア映像祭」は、会場にほぼ満員の盛会にて無事終了しほっとしております。今回は発送名簿にない初めての方が60名もありましたが、これは図書館側の広報と、一部出品者のお誘いによるものではないかと、ご記入いただいた住所録の整理に追われております。これからの公開映写会への新しい動員対象になるものと期待しています。

今回の映像祭作品は、観客の皆さんの評価も高く内容的にも良かったと自負しています。また途中のトラブル発生もなく良かったと思います。

準備や当日の役割に、OMCの藤原さん、関さんが映写担当に、受付には有村さん、安居ご夫妻ほか多くの方々のご協力を得ました、有り難うございました。  
 <大阪アマチュア映像連盟会長 合原一夫>

■OMC映像フェスティバルの成功にもご協力お願いします。

11月29日(日曜日)午後、阿倍野市民学習センター講堂で開催するOMCフェスティバルには、動員と当日のご協力のほど会員の皆様をお願いします。

### 11月例会のお知らせ

11月例会は28日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センターにて。秋も深まり撮影の好季節です。今まであまり出品されていない新入会の方も遠慮なく作品をお持ちください。先月会費未納の方は年会費(1万円)納入の件もよろしく願います。また翌日29日(日曜日)午後はOMC公開映写会の日、どうぞ動員のご協力を願います。

# 10月例会のレポート

今月は総勢24名の賑やかな、そして和気藪々とした中での例会でした。司会は合原さん、書記は有村さん、デッキ係は渡辺さん、受付を安居良枝さんをお願いして会を進行しました。途中の休憩後、年度初めのことで総会があり、新しい役員と役割分担(先月号に紹介)と会計報告が行われました。新年度の会員として会費納入していただいた方は10月例会までに22名になっています。あと数名以上を期待しております。

◆出席者: 合原、有村、前田、関、上総、奥、森、今井、江村、松本、増池、渡辺、森口、安居、安居良枝、金子、那須、中尾、藤原、森下、山口、宮崎、他に見学者2名(以上24名敬称略)

◆上映作品(今月の講評担当は有村世話役です)

- 1) エレクトロニクスショー'98      安居 利次さん      9分  
大阪南港での今年のエレショーに行かれて、ソニーのパソコン、PDP(壁掛TV)、録画可能なDVD、MPEG II(圧縮)、D-VHSの事など近未来の精密機器についての思いを楽しく語っておられます。AVマニアだけを対象にするならこれでいいのですが、これだけの専門知識をよくご存じない人もたくさんおられると思います。
- 2) 昔の民家      安居 良枝さん      7分  
服部緑地にある昔の民家の展示場で日本人の先祖の生活のあり方などを探っておられます。そしてご自身、昔の多少不便ではあってもものんびりした生活と、全ての面で至れり尽くせりの現在と果たしてどちらが良いかと複雑な心境を語っておられます。あれ位の材料でよくここまでお考えになると感心しました。
- 3) 秋空に祭り太鼓が響く      金子 博泰さん      8分  
堺市の百舌八幡での勇壮で華麗なふとん太鼓を記録されています。明らかにピンボケの延々と長いカットは外してください。旗のアップは字を読ませる長さを残すなら上から下へティルトし、字も裏からでなく表から撮影してください。見ている人が不自然に思うカットは思いきって切った方が良くなるように思います。
- 4) 石仏の里      森口 吉正さん      6分10秒  
浄瑠璃寺から始まって当尾の里の石仏、この地で有名な野菜や果物の無人売場などを紹介しておられます。しっとりした情感の作品でした。
- 5) 京ぶらり・清水寺界限      奥 宏さん      11分  
清水寺界限のおみやげ屋さん、お寺の故事来歴、再びおみやげ屋さん、その後、高台寺の語りになりましたが、撮った順でしょうか。これだけの材料があるのですから、タイトルを変えて立派な作品に生まれかわらせてください。

- 6) 野崎観音護魔供養 森 保信さん 7分30秒  
 学研都市線の四条畷の手前にある有名なお寺での行事を克明に記録されました。実際に現場に行ってもこんなに詳細に見ることはないでしょう。それ程興味を惹かれる材料でないからです。中に入って撮られた割りに遠慮されてアップが少ないというご指摘がありました。
- 7) 或る日のパロディ 関 剛さん 3分  
 18年も前に作られた8ミリフィルムのアニメのテレシネです。当時の首相くらすの大平さん、岸さん、田中角栄さんらの似顔が出て懐かしく拝見しました。
- 8) 三昧画の世界 有村 博さん 15分  
 和歌山県の根来寺に住む仏画を書いているお坊さんに頼んで前後3回撮影させてもらって作品にしています。人物を描くドキュメンタリーでは日頃の生活をいれて作品の幅を広げようのご指摘がありました。何げなくそれが撮ればいいのですが、テレビのようなヤラセはよくないと思いましたが、難しいものです。
- 9) 狸は大将しがらき陶器まつり 宮崎 紀代子さん 6分50秒  
 滋賀県の信楽焼の里を訪ねて、小学校で開かれている陶器まつりを中心に記録されています。撮影も落ち着いて中々良かったのですが、ナレーションがどうも画面を見ながら直接語られているようで、言い直しがそのまま入っています。また最後のご自分の感想なりがなくブツリと終わって、終りのマークも出ません。折角の作品ですから面倒がらずに入れて下さい。
- 10) イギリス縦断紀行 上総 修一郎さん 13分44秒  
 英国本土を南北に縦断して旅行され、精力的に撮影されたものの集大成的な作品です。私達の知らない事柄をナレーションで解りやすく説明されご自分の感想も適当に入って良かったと思います。淡々とした作品ですので後半何か盛り上がるものが欲しいように思うのは欲張りでしょうか。
- 11) クリスタ長堀 増池 茂さん 5分40秒  
 新しく出来た長堀の地下街をオーソドックスに作品にするにはやはり広角画面からスタートするのが常道でしょう。ですがこの作品はいきなりからショウウィンドーを中心にしたアップ画面が続きます。作者の感性での別の作品にするのでしたらもっとカットを短くたたみかける様な手法がいいでしょう。そのどちらでもないので制作意図が見る人に伝わってきません。後は編集のテクニックを研究されて最挑戦してください。
- 12) フェスティバル 那須 典彦さん 8分30秒  
 今年の御堂筋パレードを作者独自の美しい撮影画面で要領よく編集されて見せてくれます。行列物の作り方は非常に難しいのですが、昨年からはまった夜の場面もよく紹介されていました。見ればすぐわかるパレードですからこのタイトルはどうでしょう。ご一考を・・・。

### 13) 飛鳥散策

今井 羨美さん 11分50秒

昨年と今年と2年がかりで飛鳥を撮影されて作品にされました。ナレーションも解りやすくしっとり落ち着いた作品に仕上がっています。亀石が出たので猿石も欲しいし川原寺も、と思ったりもしました。もう少し短くてもよかったですのではないのでしょうか。

以上で会員さんの作品上映を終り、2次会は喫茶店と居酒屋に別れて楽しみました。

## 前期例会記録あれこれ

会長 合原一夫

### ■前期例会皆出席、皆出品は有村、江村の両氏

9月例会にて前期は終了しましたが、例会記録を調べてみましたら、年間を通じて1回の欠席もなく、しかも毎月作品をお出しになった方は2名おられました。有村、江村の両氏です。ご両人とも毎月立派な作品をご披露され会員諸氏の励みにもなったと思います。また奥、関、合原、前田、増池、渡辺の6氏は皆出席者で、前期は合計8名の皆出席者がいたこととなります。ちなみに11回出席者は今井、上総、森、安居利次さんの4氏でした。

皆さんのご熱心さに敬意を表するとともに例会盛り立て役に感謝いたします。

### ■例会出席の平均は21.3人、作品数は11.6本でした

1年前の前々期の例会出席者は15.1人。作品数は7.1本でしたから、この1年でそれぞれ1.4倍、1.6倍の増加ぶりでOMCの躍進ぶりが裏付けられました。今期もこのレベルを何とか維持したいものです。

## 余韻を大切にしたいラスト音楽

例会でときどき画面のエンドマークが終わってもまだBGMが終わらなくてデッキのスイッチが切られてしまうことがあります。画面のエンドマークと音楽の終わりをピッタシ合わせたいものです。せめてフェードアウトで音量を消すくらいの配慮は欲しいものです。合わせ方は特に難しいわけではなく、要は面倒くさがらずにやってみて慣れることです。技術面は2次会の席にゆずるとして、とにかくラストシーンの印象は作品の良さを左右する大切なカットです。この印象を深めるために音楽のラスト演奏を生かすように、曲の終わりの部分がラストシーン向きかどうかを調べるのも選曲のコツです。